

芙蓉

vol. 60

2018.4月 発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地

TEL (0545) 52-0402 FAX (0545) 55-1119

<http://www.fuyoukai.org>

児童養護施設	ひまわり園	TEL.0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	TEL.0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL.0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL.0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL.0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL.0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL.0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL.0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL.0545-30-8324
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL.0545-55-1811
看護小規模多機能	みぎわの里	TEL.0545-30-7952

公分母

「思いを遂げる」

みぎわ園施設長 佐々木 孝

平成30年の年明けより3ヶ月が過ぎ、事業年30年度としての始まりを感じる時です。

この間には、冬季オリンピック、パラリンピックが隣国韓国の平昌で開催され、男子モーグルに始まるメダル獲得の数が日本の冬季オリンピック史上最多、13個の獲得数でありました。表彰台に上がるアスリートたちの笑顔に敬意を表したいと思います。けがを克服しての金メダル、肋骨の故障を隠し得てまでも頑張った銀メダル、そんな日本人のアスリートたちの進化と努力、忍耐には感動を覚えました。そんな時、ノルディック複合競技で銀メダルを獲得した渡部暁斗選手の勇姿から思い出したのは、雪国育ちの私の50年も前の友人で、同じノルディック競技で冬の国体の入賞を果たした友のことです。高校の3年間15キロ程離れた自宅から学校までリュックを背負

い毎日走りながら通学し、放課後は雪の積もった真白なグラウンドを黙々とスキーで踏みしめコースを作り、淡々と何十周と周り滑る練習をしていた姿です。一つの事への執念と努力が実を結んだ姿でした。

「一意専心」の言葉がよく似合う光景でした。感慨を覚えたこの時期は、又3年に一度介護保険報酬改定の時期であり、今後3年間の保険事業に影響する時でもあります。国の主導による改定も前回のマイナス改定から多少プラスとした内容ではありますが、社会保障費の逼迫された状況は変わる事もなく、方向として介護世情については、双方に厳しく楽ではないものを感じました。介護サービスを提供する者として福祉と経営、相容れない面を感じながらも地域への手助けに向け、理念に沿った「一意専心」を繋げなければと願うものです。

みぎわ園

お菓子作り やっています

少しずつ暖かくなってきましたね
2月はバレンタインデーということで、男性へのプレゼントとしてチョコ作りをしました。

久しぶりに手作りするということで女性入居者様も嬉しそうです。笑顔も多く見られ楽しそうに作られているのが印象的でした。男性入居者様も喜んで召し上がっていましたね。男性職員にも作っていただきありがとうございます。おいしくいただきました。

その他にも、定期的におやつ作りを行ない、お誕生日のお祝いも行なっています。皆様の笑顔を見ることができ、私たちも嬉しく思っています。

暖かくなってきたので外出なども計画していきますので楽しみにしててください。



* ふようデイサービスセンター *

初詣



1月中旬、三田市浅間神社へ出かけました。天候に恵まれ、「今年も健康で、皆さんの幸せな一年を!…」と、いろんなことお願いしてきました。



お茶会

3:00のおやつをかねて、お茶会を行いました。皆様「お抹茶、いつものお茶と違っておいしいね」と言いながら飲んでいました。



フラダンス

ボランティアさんによるフラダンスを行いました。音楽に合わせて、手を動かし、ダンスを楽しみました。



* デイサービスセンターみぎわ園 *

デイサービスセンターみぎわ園は年始から元気良く活動しています!



春の日差しが心地よくなる季節となりました

1月は初詣に三田市浅間神社へお参りをし、皆様思いに手を合わせ心をこめて参拝してきました。昔を知るご利用者様は建て替えた神社をみて「綺麗になったなあー!」と感動して、思わず涙が。

2月の上旬には豆まきを行い、「鬼は外!福は内!」の掛け声とともに元気良く球を投げて見事に鬼退治をすることができました。皆様楽しそうな表情で参加してくださいました。

また、2月中旬にはバレンタインデーにちなんでおやつにチョコレートフォンデュ作りをしました。果物を切ったりお皿に飾り付けたりする作業は女性陣が大活躍!男性陣は「うまい!」と大満足のご様子です!



* みぎわの里 *

1月

お正月ムードたっぷりの楽しい時を過ごしました。



2月

「鬼は外!」と豆まきで邪気を追い払い、今年も健康に過ごせますように…。



3月

華やかなちらし寿司、豪華なけんちん汁を食し、ひな祭りを祝いました。



* ひまわり園 *



幼児さんと小学生でぐりんぱにいきました。色々な乗り物に乗り、時間いっぱいまで楽しみました。カッコいいウルトラマンにも会えました。



大地

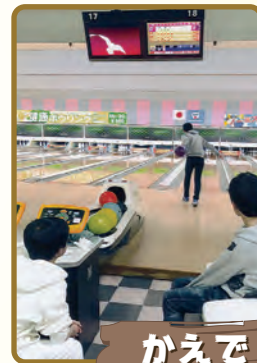


銀河

部活やアルバイトが休みの日には、テレビを見たりして、ゆったりと過ごす事が多いです。また、テスト前では、自分から勉強をして、テストに備える事ができています。

学校の授業で雪遊びにでかけました。そり滑りは、とても早く楽しかったです。たくさんの雪にもびっくり。

けやき



かえで

部屋の3名でボウリングへ行ってきました。一緒に出掛けた職員は疲れたそうですが、さすがが中学生！5ゲームやって帰ってきて元気でした。



りんどう

4月から幼稚園に入園する子がりんどうに2人います。買い揃えた新しい用品（レジャーシート、お弁当箱など）を広げ、新しい帽子をかぶり、靴を履き、嬉しそうにしています。今から幼稚園に行くのを心待ちにしている幼児さんです。

こどもの国で雪遊び行事。雪山に登ったり、動物にビックリしながらエサやりです。



さくら



長年にわたり児童養護施設ひまわり園の園長として、子どもたちを支え続けてこられた戸巻英美夫園長が平成30年3月31日をもって園長職を退任され、法人の理事長に専念されることになりました。それに伴いまして4月1日より私がひまわり園園長を拝命いたしました。

前園長は昭和33年にひまわり園の全身である「富士育児院」に児童指導員として入職、その後昭和58年には御尊父 戸巻俊一氏の跡を継がれ、法人理事長及びひまわり園長として、永きにわたり法人の発展にご尽力され、私たちを導いてくださいました。また、県内のみならず全国児童養護施設協議会でも重責を果たされました。現在、児童養護施設は戦後最大の変革期を迎えようとしています。「小規模化」「地域分散化」「里親支援」「地域支援」など、多くの課題が山積している中、ひまわり園が積み重ねてきた歴史に学びつつ、更なる発展に努めていく所存です。

若輩者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻程、お願い申し上げます。

児童養護施設ひまわり園 園長 種田賢二

みどり園

【1月】



お正月

「あけましておめでとう」の言葉を覚え、元気に挨拶をする事が出来ました。その日はお正月遊びをしたり、おめかしをして写真を撮ったり、のんびり過ごしました。



はま寿司お出かけ



はま寿司に行き、お寿司を食べました。初めて見る回転寿司に興味津々。納豆巻きやカップ巻き、ポテトフライなど好きなものを沢山食べました。



園外保育

米ノ宮神社、児童館ぐるんぱ



公園で遊んだ後、近くのパン屋に行き、子ども達が好きなパンを選んで買いました。動物パンが人気で、残さずペロリと食べてしまいました。“ぐるんぱ”では、お話の会に参加しました。童歌やお話を聞き、楽しく参加することが出来ました。



ありがとう

株式会社ジェイ・ストーム様から頂いた助成金で、外遊び用の玩具やお人形の洋服を購入させて頂きました。また、美影館様のご厚意により、七五三の個人撮影をさせて頂きました。ありがとうございました。



ひろみ



2月16日に「ビューティーライフプランナー 望月真理子さん」のご指導の元、中高生・社会人を対象としたメイク講座に、参加させていただきました。メイク1つにしても、ビジネス用や休日用など、場面によって仕方が変わります。これから社会人になる高校3年生の2人は、望月さんのお手本とアドバイスを聞き、真剣にメイクを楽しく学ぶことが出来ました。今回のメイク講座は、子どもたちや保育士にとって、とても良い刺激になりました。自立まで残り少ないですが、経験させてあげられることは、1つでも多く経験させていこうと感じました。望月真理子さん、今回はこのような場を設けていただき、誠にありがとうございました。

ビューティープランナー 望月真理子様のホームページ
<http://www.mahanaclub.com/>



「自分を愛するように隣人を愛しなさい」

「子どもとお年寄りの幸せのために」

【みどり園、ひまわり園】

子どもの最善の利益の保障と権利擁護を守り、生活を営む主役である子どもたちが、日常生活において主体的に考え取り組むことができるように支援します。厚生労働省の指導する新たな社会的養育ビジョンに求められる乳児院、養護施設の将来像を考慮し、新規事業や園舎の建設の準備を進めます。

【みぎわ園】

入居者一人ひとりを尊重し、その人らしく日々の生活を送れるよう介護職と看護職が共働して、予防的看護と施設でできる範囲の療養看護を努めます。入居者がその人らしい最期を迎えられる最善の状況を提供できるよう、継続して介護、看護及び医師等、その他協力して心を尽くした看取り介護を実施します。開設15年を迎え、設備・機器の取替え計画を進めます。人材不足を解消するため、外国人介護士の利用を検討し、職員の健康管理と腰痛防止対策を検討します。

【法人本部】

社会福祉法人芙蓉会は2018年6月で創立115周年を迎えます。現在、全国の社会福祉法人では「人材確保、育成、定着」に苦慮しており、このような厳しい環境下で、「人材が集まり育ち、定着する職場」をどのように整えるべきか、事業の継続性や持続的な成長性を実現するために「人材」について経営戦略と整合性をもって推進することは、当法人の優先すべき課題であります。

福祉サービスは人を相手として、人の手によって行われる対人サービスであり、福祉人材の確保および資質の向上は、福祉サービス提供そのものに影響を及ぼすこととなりますので、新卒者だけでなく中途採用の強化が求められ、採用方法にも工夫が必要となります。また、限られた人員でいかに付加価値を高めていか、長時間労働の是正や多様な就業形態の導入など、働き方改革により職員の満足度を引き上げながら、効率化に向けていくために「人事課の見直し」を図り職員の意欲向上と意識改革に努めて参ります。

また、法人理念の下、地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考えており、更なる透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動の実践を推進して参ります。最後に、新任職員は4月に外部講師(坂倉裕子氏)による「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について学び、中堅職員は秋に「ユニットリーダーに求めるもの」を坂倉裕子氏により2回開催し、職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供を目指して参ります。

【児童養護施設 ひまわり園】

平成28年度の児童福祉法の改正は1989年に国際連合で締結された「児童の権利に関する条約」(日本の批准は1994年)の理念を具現化するためのものであります。厚生労働省は更に29年8月に乳児院や児童養護施設を含む社会的養護における国の進む方向として「新しい社会的養育ビジョン」を発表しました。その中で以下の方向性が明示されました。

- 1) 里親委託の促進
 - ・3歳未満児は概ね5年以内に75%、それ以外の未就学児は概ね7年以内に75%、学童期以降は概ね10年以内に50%を達成する。
 - ・包括的な里親支援体制の確立
- 2) 養子縁組の推進
 - ・概ね5年以内に特別養子縁組成立件数を倍増させる。
- 3) 施設養育のあり方
 - ・乳幼児は原則として新規措置入所を停止。
 - ・ケアニーズが高い子どもについても、原則として乳幼児は数ヶ月以内、学童期以降は1年以内、特別なケアが必要な子どもであっても3年以内の措置とする。
 - ・全ての施設は原則として概ね10年以内を目処に小規模化、地域分散化を図る。
- 4) 自立支援
 - ・社会的養護自立支援事業の実施促進

この「新ビジョン」は従来の日本における児童福祉政策を大きく転換させるものであり、児童福祉施設だけではなく自治体をも大きく揺るがすものとなりました。財源の問題、支援体制整備の問題、人材の確保と育成の問題など、乗り越えなければならない多くの課題が山積しているのが現状です。結果的には社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会において、都道府県推進計画の見直し要領骨子案での里親委託率の数値目標は、都道府県の判断で現行を上回る数値目標を設定することで決着しました。

ひまわり園においては毎年の人材確保に大変苦労している現状であり、更には被虐待児や愛着に課題がある子どもたちの問題対応に日々追われている状況が常態化しています。そうした状況を打破するために施設の職員配置をはじめとした抜本的制度改革を願うところではありますが、それを待つだけでなく施設独自の努力や工夫が早急に求められます。

児童福祉の大きな柱である「子どもは権利の主体者である」「子どもの最善の利益のために」という言葉が持つ意味を職員が共有し、養育理念、養育方針を1人ひとりが主体的に考え、具現化していく作業を行うことが重要だと考えます。理念や方針が「絵に描いた餅」ではなく具体性を持ったものとして構築していく取り組みを進めていきたいと考えます。そして、子どもと職員がお互いを大切にできる関係性を構築できるよう努めます。

【地域小規模児童養護施設ひろみ】(ひまわり園加算事業)

本体施設の支援のもと、地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持ちながら、個別のニーズに沿ったサービスを提供することを目指します。

年度末に新しく入所した児童に対しては、落ち着いた生活が送れるように、学校や児童相談所などと連携し、十分に配慮して養育していきます。高校3年生の女子児童が1名おりますので、

本人とよく話し合い、各関係機関の協力を得ながら、希望の進路に進めるよう支援していきます。年度末に2名が就職自立しました。安定した生活が送れるように、アフターケアについて具体的な計画を立てて、積極的に実施していきます。

また地域のボランティアの方を受け入れたり、地域のイベントに参加することで、地域との関わりが広がってきました。引き続き、町内会や地域の行事を通して、施設への理解が深まるよう努めていくと同時に、地域で生活をしている小規模施設が、地域の福祉にどう関わっていくのか、何が出来るのか、職員全員で考えていきます。

平成30年度は本体施設の支援のもと、以下の基本目標に基づき、職員の技能向上および児童養護サービスの向上に努め、安全で安心な暮らしを子どもたちに保障し、社会的自立並びに家族再統合に向けて、関係機関、地域、学校、保護者と連携・協働して事業を推進します。

【恩賜記念みどり園】

「新たな社会的養育のあり方検討委員会」が平成29年8月2日に「新しい社会的養育ビジョン」を示したことを受け、厚生労働省内に発足した「乳児院・児童養護施設の多機能化等に関するPT」が、新ビジョンの具現化に向けた検討を継続しており、乳児院・児童養護施設等には、新ビジョンの家庭養育優先の原則を進める中においても、施設での養育を必要とするケアニーズの高い子ども達の養育や、実親支援等に関して、施設の高機能化等を図り、専門性を高めてさらなる家庭復帰、親子再統合を図っていくとともに、里親や特別養子縁組を含む在宅家庭への支援を行うこと等、児童福祉施設の高機能化及び多機能化・機能転換、小規模化・地域分散化を強く求めています。

このような状況の中で、社会福祉法人芙蓉会創立の理念「隣人愛」の精神等を基に、みどり園を必要としている子ども達の安心や安全を守る砦として、また巣立っていった子ども達の足跡を守る家庭に変わる場所としての役割を保ちつつ、「新しい社会的養育ビジョン」を意識した、小規模化・地域分散化を考慮した養育環境の再構築と、地域の家庭支援を視野に入れた施設機能の強化等、新たな乳児院の事業の構築を目指す年度として、別添え資料の事業を進めます。

また、昨年購入した園舎北側の土地での分園型小規模グループケアを中心とした事業計画を進め、実施可能な付帯事業についても行政機関との検討を進める等、事業開始に向けて計画を作成すると共に、必要な人材の確保や養成についても着手していきたいと思います。

また、定員は乳児30名ですが、入所児童の減少から暫定定員での事業が予想されるため、必要に応じて積立金を取り崩しての事業を実施します。

【特別養護老人ホームみぎわ園】

平成30年度事業実施にあたり、本年は介護報酬改定の年度にあつて、これより3年間の介護保険報酬事情を見定める重要でかつ難しい年度の開始であります。

介護報酬の0.54%プラス改定は、国の新たな方針が定められており、いくつかの柱を組合せながら地域の超高齢化対策に向けてとしています。一つに地域包括ケアシステムの具体化された推進で、地域共生社会の具現化を担いとして医療と介護連携を以て、中重度の在宅介護者(老人・障害者・精神)に対応するとした介護医療のケア連携が求められます。また、介護職離職者ゼロに向けた「働き方改革」の一端を担うとした介護職処遇改善に向けた様々な手立ても柱となっています。これは介護職の質を高め、介護サービス提供の充実をめざしつつ介護負担軽減を図るとしています。このための介護ロボット導入やICTを活用した介護現場の改善や介護ケアの多様化に沿った介護力の確立であります。

加えて施設内での「看取り」を積極的に進めるとした強い表現が明記されています。ただ一方で本人、家族の希望で自宅での看取りを進めるとした終末期在宅看取り介護を地域ケアの一環として施設からのケアサポートとして求められています。

在宅系のサービスに於いては、価格に見合ったサービス内容とは何かなど明確にすることが求められ、一般デイサービスと認知症サービスの棲み分けと機能分化と明確化、又提供時間も1時間単位でのサービス提供への改定となり、この整備を行います。

個別のサービス機能へのアプローチもしっかりとしたADL評価等、量より質を重視した事業展開へと変化し、見える化した業務改革が必須となって来ました。

介護職の離職者ゼロを目指す処遇改善体制に向けて、介護人材の不足が厳しい中、介護のスキル、介護力のサポートとして期待される器械機能を具体化しつつ、これに伴う報酬加算の取得を検討して行きます。

介護人材の不足改善に向けた動きの中では、昨年11月に施行された技能実習(新)法に沿って富士市が進める外国人技能実習生受入れを、11月8日来園されたタイ王国厚生省の視察団との懇談の中にあつた同国介護技能実習生の派遣について関係機関との調整を行うつつ、より具体化した方向で検討してみたいと思います。

2025年の超高齢社会に向けた介護事情を現実視し、国の社会保障費財政を基本とした制度変更と改定に振り回されつつも、介護保険事業の一角担う介護施設事業所として安心、安全、安定した介護経営と戦略、そして運用を求めつつこれに即応した事業実施を進めて行きます。

ありがとう

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げますとともに、ここに紹介させていただきます。(敬称略)

あみや横町 速水康太、(株)安納スイーツファーム農業生産法人、伊藤将人、飯泉哲也、井上建設(株)、伊藤会計事務所 市川博雄、有限会社エイ・アンド・エイ、圓妙寺、沖本洋子・富夫、小穴菅登、丘の上聖歌隊、太田智、勝又洋子 (株)カミオ、梶本直正、勝又長見、金子圭介、川島泰彦、(株)角山、(株)かつまた、菊池光男、協栄空調、菊池晶子 久保田浩造、沓沢真弓、栗山恵吉、小林園、小西徳三、小松一徳、佐藤昌之、佐藤みどり、佐野茂樹、サンコー防災里親会、齊藤斗志二、佐野正、静岡恵明学園 理事長 杉村伸一、志藤好彦、白井ひろみ、静岡労務経営研究所 鈴木庸由、鈴木一美、杉山幹根、杉山富米、鈴木重勝、須藤和夫、高橋八重子、田中薬品、立石・塩谷法律事務所 高橋八ヤ、(有)大富士、(宗)大雲院、寺山光子、伝心寺、戸巻ひさ子、(株)TOKAI、戸巻紀美子、長橋忍、行木秀和 内藤順敬・恵美子、中野充世志、中尾祐子、日本ベビーフード協議会、肉の栗清、虹の会 代表 味岡佐千代 日本鏡餅組合、日本放送協会静岡放送局 局長 伊藤浩、(株)日本教文社、布田保孝、野村幹三郎、株式会社ハウシード 平林さち子東国久保町内会 会長 鈴木隆、美影館、富士中央ライオンズクラブ、富士製パン、富士信用金庫 深澤良子、富士防犯協会、富士警察署地域安全協議会、富士中央ライオンズクラブ、株式会社プレナス、松本玲子 松本芳泰、松野精肉店、公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団、マルハン鷹岡店、(有)松永精巧 松永秀彦、美濃部みどり 妙立寺、門司一徹、望月瑠美子、ヤマグチ電機、ソニー生命保険(株) 山田賢一、山本行信、(株)ゆとり、吉原小学校 吉原第一中学校、林正寺、渡邊みつ子、渡邊光雄、渡井照代、ワールドメイト あれがテツワン富士支部

(H29.11.21~H30.2.28)

寄付のお願い

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上での大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

振込先

銀行名 静岡銀行 吉原北支店
預金種目 普通預金 □座番号 0817169
□座名義 社会福祉法人芙蓉会 理事長 戸巻芙美夫
シャカイフクシホウジンフヨウカイ
リジチョウ トマキフミオ

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 } 1□ 1,000円 会 社 } 1□ 3,000円
個人会費 } 1□ 1,000円 団 体 会 員 }

振込先 (郵便局振替口座)

・□座番号 00880-0-2423 ・□座名称 芙蓉会后援会

何□でも
結構です

他の金融機関からのお振込を受ける際にご指定いただく□座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちよ銀行
店 名 ○八九店
預金種目 当座
□座番号 0002423
□座名義 フヨウカイクウエンカイ

首安箱

(H29.9月~H30.3月)

●ひまわり園

※今回、他の施設はありませんでした。

内容：園の小学生が下校中、同級生に暴力をふるってしまいました。

対応：担当職員が事実確認を行い、保護者の方、お子様に対して謝罪をさせていただきました。また、園でも再度、同じことがないように指導しました。

内容：園の小学生がショートルフランをさせて頂いている里親様のお宅から、息子さんの大事な物を盗って帰ってきてしまいました。

対応：当該児童に事実確認をして、相手方に謝罪と弁償をさせていただきました。

内容：入所している児童の保護者の方から、今後の児童の進路について詳細説明を受けていないとお電話がありました。

対応：謝罪すると共に今後のことについて説明をさせていただきます、ご了解を得ました。

ひまわり園 より

今回のキャラ弁

昨年度一年間、毎日かわいいお弁当作りを心掛けてきました。



編集後記

春風が心地よい季節となって参りました。卒業や卒園、入学、就職などで新生活を始められた方も多いのではないのでしょうか。新しい出会いや別れは何らかの変化を起こします。新たな出会いに期待し、日々成長できるよう一日一日を大切に過ごしていきましょう。今年度もよろしくお願い致します。